

# 第3期中心市街地活性化プログラムの令和2年度のフォローアップについて

## 1 第3期中心市街地活性化プログラムの概要

### ① 目的

第3期中心市街地活性化プログラム（以下、第3期プログラム）は、各種取組の実施主体となる商店街や商工団体、市民団体等と支援機関、行政機関が、長期的に目指すまちの姿とプログラム期間の目標、基本方針などを共有し、中心市街地の機能や魅力の維持・向上に取り組むことを目的とする。

### ② 位置づけと期間

#### (1) 位置づけ

第3期プログラムは、第6次総合計画を上位計画とし、各種まちづくり計画と連携し、中心市街地の活性化に向けた取組を推進するための指針と位置付ける。

#### (2) 期間

第3期プログラムの期間は、令和2年4月から令和5年3月末までの3か年度とし、将来像の実現に向けた段階的な取組を推進する。

### ③ 第2期中心市街地活性化プログラムからの主な変更点

- 居住人口減少、高齢化等に伴い課題は多様化しており、従来のイベント中心のプログラムの成果が、一過性の「まちの賑わい」創出にとどまることから、課題対応型のプログラムへの転換を図る。
- 高田地区と直江津地区は、長い年月をかけて蓄積された都市、居住、生活、経済等の機能、歴史・文化などの違いから、現在のまちの姿、取り組むべき課題も異なるため、目標等を地区別に定める。
- それぞれの既存ストックをいかし、高田地区は「上越地域の中心都市として再生」、直江津地区は「上越地域の交流・交易の中心」を目指す。

#### (1) 将来像

長期的に目指すまちの姿「将来像」を新たに設定する。

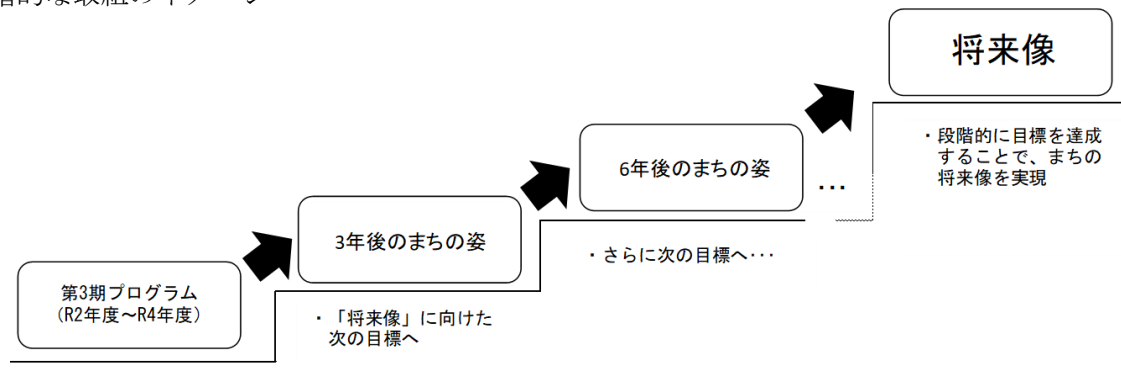
高田地区	直江津地区
暮らしたい、訪れたい、働きたい、城下町・高田	人、モノ、情報が出会い交流する、港町・直江津

#### (2) 3年間の目標

- 高田地区は、都市、居住、経済等の機能や歴史的・文化的資源の有効活用を図る。
- 直江津地区は、集客が期待できる拠点施設の利用者が街なかを楽しむ仕掛けづくりに取り組む。

第2期プログラム	第3期プログラム	
	高田地区	直江津地区
街のにぎわいの向上	つかいたいまち・高田	めぐる！楽しむ！直江津

※段階的な取組のイメージ



### (3) 目標指標

人口減少、高齢化、車社会などの社会経済情勢とプログラムの実施期間を考慮した上で達成可能なものとし、地区別の3年間の目標に合わせて設定する。

地区	第2期プログラム	第3期プログラム
高田地区	①歩行者交通量の10%増加 【6,923人 → 7,600人】	①高田区居住者の日常の買物割合 【6.3% → 6.3%以上】
	②空き店舗数の減少 【14件 → 11件】	②主要な拠点施設の年間利用者数の増加 【1,128,338人 → 1,129,000人以上】
	③イベント集客人数の増加 【189,288人 → 208,000人】	③街なか居住の促進に向けた機運の醸成 【住民の機運が高まった状態】
直江津地区	①歩行者交通量の10%増加 【2,409人 → 2,650人】	①直江津区居住者の日常の買物割合 【19.2% → 19.2%以上】
	②空き店舗数の減少 【8件 → 6件】	②直江津区非居住者の地区内買物割合 【29.8% → 29.8%以上】
	③イベント集客人数の増加 【205,800人 → 226,100人】	③主要な拠点施設の年間利用者数の増加 【953,404人 → 954,000人以上】

### (4) 基本方針

3年間の目標と連動し、イベントを中心とした賑わい創出から、産業振興と街なか居住の促進を2本柱として当面の課題に対応する取組を推進するための基本方針に見直す。

第2期プログラム	第3期プログラム	
	高田地区	直江津地区
①商店街の維持・活性化	①商店街や商店の魅力と利便性の向上	①拠点施設の来街者に街なか回遊を促す仕掛けの充実
②地域資源を活かしたまちづくりの推進	②エリア間の連携強化	②街なかの受け入れ環境の整備
③次代につなぐ担い手の育成	③居住環境の改善	③居住環境の改善に向けた検討

### (5) 長期的課題の明確化

中心市街地活性化に向けた課題のうち「3年間の取組のみでは解決が困難なもの」と、「当面取り組むべきもの」を区分することにより、商店街や商工団体、市民団体等と取組の優先度について、認識を共有する。なお、長期的な課題については、継続的な取組の例示も行う。

### 【まちの力を維持・強化するため長期的に取り組む事項（高田地区・直江津地区共通）】

- 地区内居住人口の維持・増加
- 商業機能の維持・拡充
- 空き地、空き家、空き店舗の解消
- 公共交通の利便性の向上
- まちづくり会社の機能強化

## 2 目標指標の達成状況

### 【高田地区】

指標①：令和4年度において高田地区居住者が「高田本町3～7丁目、幸町で週2,3回以上買物する割合」を6.3%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

達成状況：現況値なし（令和4年度に調査実施予定）

指標②：令和4年度において主要な拠点施設<sup>※1</sup>の年間利用者数の合計を1,129千人以上とする

※1 町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとぴあ高田、イレブンプラザ

達成状況：下記の表のとおり

平成30年度	令和2年度
1,128,338人	864,556人

指標③：「街なか居住促進に向けた住民の皆さんの機運が高まった状態」を目指す

達成状況：まちなか居住推進事業事務局（市）において高田区内の5つの町内会をモデル候補地区に選定し、地元住民とワークショップを実施した。空き家の増加や町家・雁木の維持などの課題を共有するとともに、現在住んでいる人が住み続けるために必要なことや新たに住む人や訪れる人にまちを魅力的に感じてもらうために必要なことなど議論を行い「まちなか居住」の促進に向けたあゆみを進めた。

### 【直江津地区】

指標①：令和4年度において直江津地区居住者が「直江津駅前、中央、西本町、五智で週2,3回以上買物する割合」を19.2%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

指標②：令和4年度において直江津地区に居住していない市民が「直江津駅前、中央、西本町、五智で買物する割合」を29.8%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

達成状況：現況値なし（令和4年度に調査実施予定）

指標③：令和4年度において主要な拠点施設<sup>※2</sup>の年間利用者数の合計を954千人以上とする

※2 直江津学びの交流館、ライオン像のある館、エルマール専門店街（直江津SC内）

達成状況：下記の表のとおり

平成30年度	令和2年度
953,404人	955,311人

## 3 現状に対する評価と今後の方向性

- ・商工団体や市民活動団体（高田地区20団体、直江津地区15団体）を対象に「第3期中心市街地プログラムの取組状況に関するアンケート調査」を実施し、令和2年度の取組状況の確認や各団体が抱えている課題、次年度以降の取組について確認。
- ・第3期プログラムの基本方針に基づいた事業に「取り組んだ」と回答した団体は高田地区で20団体中13団体（65%）、直江津地区で15団体中6団体（40%）となり、コロナ禍においても基本方針に基づいた取組を実施した団体があった一方で、約半数の団体が取り組むことができなかった。
- ・取組事例としては、高田地区では、人数や来場時間を制限した事前予約制による本町ハロウィンまつりの開催や、在日外国人をターゲットとした高田本町クリアファイル（英語表記）の作製・配布によるPR事業などに取組まれた。直江津地区では、「直江津見どころガイド&マップ」の発行や、まちなかの主要な花壇への「青い花」の植樹による景観整備や魅力の向上などに取組まれた。
- ・一方で、「取り組んでいない」と回答した団体の理由・課題としては、「コロナ禍により集客事業の実施が困難であったこと」や「事業の担い手の不足や高齢化」といった理由・課題が挙げられた。

- ・令和3年度に取り組みたいことや検討していることとしては、多くの団体から「コロナ前に実施していた事業を実施したい」という声があった。このほか、「アーケードを散歩するペット愛好家をターゲットとした事業の検討」や「関係他団体との交流や連携を強化したい」など中心市街地の活性化に向けて前向きに検討している団体もあった。
- ・また、中心市街地の活性化に向けた意見として、空き店舗解消に向けた出店希望者や利活用者への情報発信の強化や、物件調査費や改装費などテナント誘致に係る支援の強化を求める声があった。
- ・今後、引き続きプログラムを推進するにあたっては、まちづくり会社や上越商工会議所など関係機関との連携を図りながら、団体の取組の実現に向け支援していくことにより、両地区の目指すまちの将来像の実現を目指していく必要がある。
- ・併せて、中心市街地で活動する商工団体や市民活動団体の掘り起こしを進めるとともに、各団体の活動について相互に情報共有し連携を図っていくようプラットフォームづくりを行う必要がある。

【参考：アンケート回答の一部紹介】

### ○令和2年度に基本方針に基づいて取組まれた内容

団体名	取組内容
高田本町まちづくり（株）	人数や来場時間を制限した事前予約制による本町ハロウィン祭りの開催
インバウンドで本町を盛り上げるおかみさんの会	在日外国人をターゲットにした英語表記の「高田本町クリアファイル」を作製・配布することによるPR
城下町高田花ロード実行委員会	観桜会時期に高田城址公園の枝折れ桜を商店街に飾るなど、エリア間の連携によるまちなか回遊の促進
街並みFOCUS	景観保全のためエアコン室外機の格子作りや雁木柱色塗り実施
直江津まちづくり活性化協議会	直江津見どころガイド&マップの発行・配布によるまちなか回遊の促進
みずいろ実行委員会	景観の整備や魅力向上のため、まちなかの主要な花壇へ青い花を植樹する「青い花の道」を実施

### ○令和3年度に取り組みたいことや検討していること

団体名	内容
（株）イレブンビル	魅力ある店舗となるべく、使いやすい駐車場整備、テナント販売商品に対する専門家の指導の教授
（株）三井企画	ペット愛好家をターゲットとした事業の検討
高田寺町まちづくり協議会	「浄興寺大門通り協議会」や新たに発足された「高田寺町モミジの会」との交流・連携
直江津駅前商店街振興組合	互の市に代わる定期的な催しの企画・開催

### ○中心市街地の活性化に向けた意見・提案

団体名	内容
お馬出しプロジェクト	構成員の高齢化・人手不足の解消を目的に「まちづくり応援隊」のような人材バンクができないか
上越市本町四丁目商店街振興組合	空き店舗に新規出店を検討している方や利活用者に対しての情報発信の強化が必要
直江津商店連合会	空き店舗解消に向けた商店街組織を対象とした物件調査費や改装費などテナント誘致に係る支援の強化が必要